

と き：平成16年2月23日(月) ところ：東京大学山上会館

第43回定時総会資料(3)

目	次
1. 平成16年度事業計画.....	1
2. 平成16年度収支予算総括表.....	10
3. 平成16年度一般会計収支予算書.....	11
4. 平成16年度部門協議会収支予算書.....	14
5. 平成16年度支部収支予算書総括表.....	16
6. 平成16年度北海道支部収支予算書.....	17
7. 平成16年度東北支部収支予算書.....	19
8. 平成16年度中部支部収支予算書.....	21
9. 平成16年度北陸支部収支予算書.....	23
10. 平成16年度関西支部収支予算書.....	25
11. 平成16年度中国支部収支予算書.....	27
12. 平成16年度四国支部収支予算書.....	29
13. 平成16年度九州支部収支予算書.....	31
14. 平成16年度横断型プロジェクト予算書.....	33

SICE[®]

社団法人 計測自動制御学会

2004（平成16）年度事業計画

I 方針

SICE の活動の一層の拡充を目的に平成15年度に進めた改革のための検討結果に立脚し、2004（平成16）年度は学会の基盤強化とグローバル化の一層の推進を基本目標とし、その実現のための諸施策を検討し、可能なものから実行する。前者の学会の基盤強化についての主要な項目を列挙すると以下のようなになる。

1. 拡大が進む学会活動に適切な対応が取れる体制の整備と、各理事の所掌業務の明確化
2. 学会の両輪である部門と支部の活動の一層の活性化
3. 今後の学会の発展の方向性の確立とそれに基づく中長期計画の立案

後者のグローバル化の一層の推進については、

4. SICE Annual Conference の一層のグローバル化
5. 海外の学会との協調関係の一層の強化
6. 国際論文誌の発刊に向けての準備

などがある。特に本学会を取り巻く環境の変化を正面からとらえ、それに対する対応を早急に確立することが重要である。すなわち、グローバル化やIT化が急速に進み、情報源としての本学会の地位が従来と比べて大きく変化していることは否めず、社会的ニーズへの対応についても見直しが求められていると考えら、改めて新時代の SICE のアイデンティティの確立が求められているといえよう。ウェブ上で論文誌の発刊などの近未来型形態と学会の経営問題との関係も重要な検討事項であり、新たなビジネスモデルの構築を迫るものともいえる。これらは今後の当学会の進むべき方向を決める重要検討項目である。これらは上記1～6に直接的あるいは間接的に関係するものであるが、十分な議論と会員各位からの意見のフィードバックもふまえ、SICE の将来計画の立案に向け基礎的検討を進める予定である。

従来から推進されてきた諸施策の継続推進も重要である。横断型基幹科学技術研究団体連合への積極的参加、学会のIT化、次期会長候補等の選出方法の見直しと実行、社会的要請に必ずしも合致しない計測制御エンジニア認定制度の見直しなど、後述する各種委員会における検討事項をも含め、SICE の一層の活性化の方向で検討を進める。

（1）企画委員会

1. IT時代の学会運営モデルの構築

グローバル化、IT化の進展により、情報が誰でも容易に手に入る時代を迎え、会員であることにより得られる利点に大きな変化が生じ始めている。情報発信の形態の変化は学会運営資源の変化をもたらすものであり、SICE の安定的発展を確保するためには新しい学会運営モデルの構築が求められる。将来を見据えた安定な運営基盤の確立に結びつく運営形態とはどのようなものであるのか、検討を進める。

2. SICE テクノロジービジョンの立案

SICE の分野拡大は逆に会員のニーズ充足度や学会への求心力の低下をもたらしているとの懸念がある。会員数の減少はその一端であろう。また、政策や産業界へ及ぼす影響力という側面でも、改善の余地が大いにあると考えられる。そのためには SICE のブランド力向上を目指したテクノロジービジョンの確立が必要であり、理事を中心とした検討委員会を組織してビジョン立案を試行する。

3. 英文論文誌の発刊

SICE の情報発信の地位向上を目指し、グローバル化の一環としてこれまで検討されてきた英文誌の発刊を実行に移すことを前提に、必要な検討を加え、実施の体制を整備する。

4. 学会連合の推進

横断型基幹科学技術研究団体連合に関しては従来と同様に、事務局へのサポートはもとより、学会連合の諸活動にも積極的に参加し、活動する。

5. 理事の所掌業務の明確化

平成17年度から新しい理事会構成が実行に移される。そこではいわゆる無任所理事はなくなり、全理事が明確な所掌業務を持つことになる。それへの移行がスムーズに行われるように、各種委員会との関係整備を進める。

（2）会員・広報委員会

1. SICE ビジョン立案活動との連携

会員制度のあり方、ブランド力向上など SICE ビジョンの立案が企画委員会の WG として検討されるが、この活動と連携して、会員へのサービス、広報活動に反映する。

2. 学生会員懇談会

学生会員の育成とニーズ掌握をはかるために SICE Annual Conference 2004 において理事会メンバーと懇談会をもつ。

3. 会員・広報委員会主催チュートリアル

組織的な対応ができていない関東地区の学生および若手社会人を中心的な対象としてチュートリアルを 2 回開催する。並行して各支部における会員サービス・広報活動に関する連携方法を検討する。

4. ホームページ

ホームページに関する企画、レビューを行う専門 WG を新設し、ホームページの充実、鮮度維持に努める。

(3) 学会賞委員会

厳正な学会賞選考を行うとともに、本会分野の発展への貢献を奨励するという学会賞の基本理念に則り、学会賞の運用のあるべき姿、部門および支部の各賞との相互関係等を検討する。

(4) 部門協議会

部門制に移行して 4 年を経過し、活動が定着してきている平成 16 年度は、各部門、部会の活動をさらに活発化させるとともに、学会を支える両輪の一輪として基幹体力を涵養させつつ、社会から期待されるべく新規分野の開拓を推進する。さらに新しい会計制度のもと、各部門が独立採算で自立できると同時に学会本体にも貢献できるよう、部門協議会として運営体制を整える。

1. 部門制の主旨に則り、各部門の特性を生かした独自の発想を活動に反映させることができるよう、部門協議会の在り方について検討を進める。特に平成 17 年度からは部門担当理事が 3 名となることから、平成 16 年度中に「今後の部門協議会の在り方」について結論を出す必要がある。
2. 部門の独立性を尊重しながらも、部門間の調整のために部門協議会を運営し、将来の更なる部門活発化を図る。また、全会員の部門登録制に関しての討議を継続する。
3. 会誌編集委員会、論文集委員会、産業論文委員会などへの委員派遣等、他委員会との協力を積極的に図る。また、SICE2004、自動制御連合講演会等へオーガナイズド・セッション提案をはじめ実行委員、論文委員、座長を出すなど部門外への活動も積極的に行う。
4. 学会の IT 化推進に協力し、各部門のホームページの充実等 IT 技術を積極活用する。

(5) 国際委員会

2002.11 月開催の拡大理事会で国際化に対応した中長期ビジョンが示され、その目標・基本方針が下記の通り示されている。

目標：計測・制御・システム情報分野におけるアジアの中核学会

基本方針：アジア在住の SICE 関連分野研究者にとって最も親しみの持てる学会を目指す。このため、Web を積極的に活用し、きめ細かい多様な情報を提供する。また、距離的利便性を活用して、研究者相互の密接な交流を図る。

国際委員会ではこの方針に沿って活動し、議論を重ねてきたが、2003 年 11 月の拡大理事会においてはこの方針に変更はなく、分科会において国際ジャーナルに向けての議論が重ねられた。詳細は略すが、この議論に沿って以下の活動を行う。

1. SICE Annual Conference

- ・ 国際会議化に向けて、オーガナイズド・セッション(OS)、海外著名研究者の招聘等を推進する。このため、Annual Conference 支援費を積極的に活用する。
- ・ 論文受理、査読、最終原稿受理、CD-ROM 作成のプロセスを見直し、国際会議としてのフローチャートに則した手順を確立する。
- ・ SICE2003 の総括に従い、現マニュアルを修正する。査読プロセスの見直しに着手。
- ・ 2006 年韓国での ICASE との合同開催へ向けて、海外開催の手続きの確立。
- ・ 海外開催を目指して、海外関係諸団体と協議する。また、これに伴い、国内開催、海外開催時の組織運営体制を整備するとともに、実行委員長・プログラム委員長の責任体制、権限を明確にする。

2. 国際研究集会の主催・共催

依頼された国際研究集会の主催、共催、技術主催/共催、協賛事項に関して審議・承認し、財政的

負担のある主催、共催については計画案の審議ならびにアドバイスを行う。また、そのプロセスを明確かつ迅速化するためデータベース化とマニュアル化を図る。

3. Web Magazine/Journal

会誌および論文集委員会と緊密に協議しながら、Web Magazine/Journal の発行に向けて問題点を整理するとともに、実現可能性を検討する。ことに論文誌の国際的価値の向上のために、Web Journal の実質化、国際化に向けて努力する。

4. 海外学術団体との連携

協力関係を実質的なものとしていくために、協定事項の管理を行うとともに、その積極的利用を行う。

5. 部門・部会との関係

部門協議会・部会と協議しながら、SICE Annual Conference への積極的な参画を促すとともに、国際化の視点から、部門学術講演会、部会シンポジウムとの補完・協力関係を確立する。

(6) 事業委員会

事業委員会のミッションは非会員に対して教育・啓蒙活動を行うこととし、従来から引き続く活動を行うと同時に、新しい活動を企画していく。

1. SICE 標準・規格に関する委員会

SICE が事務局を担当している JIS 規格 3 件について、引き続き事務局としての作業を継続する。

2. SICE Week 2004

SICE Week の 4 年目にあたり、より効果的に教育・啓蒙活動を行い、結果として SICE の存在感をアピールするため、【出前講演会】(A) & (B) を企画し実施する。

具体的には (A) 系は高校生対象の講演会とし 5~6 校、(B) 系は地場企業技術者対象の講演会として 3~4 社に対して講師を派遣する。(A) 系については SICE 会長経験者クラスの権威に講師をお願いし、幅広く計測と自動制御についての啓蒙的講演を札幌地区で実施いただく予定。(B) 系については対象企業の抱える技術課題や聴講企業技術者の興味ある課題について事前調査を実施したうえで、討論を含めた講演会が行えるよう SICE 2004 の参加者の中から最適の講師を選び、日程の調整をして室蘭、苫小牧地区の企業現地で講演いただく予定。

3. 第 47 回自動制御連合講演会

日本機械学会が幹事学会で、2004 年 11 月 27 日、28 日に千葉大学で開催する予定。実行委員長は野波健蔵先生(千葉大学)、運営委員長は水野毅先生(埼玉大学)の体制で実施する予定。

4. 新しい活動に向けて

今後の SICE が果たすべきミッションについて自由に議論をすすめる。とくに若年非会員に対しての、計測と制御についての啓蒙手法を議論する。また、なぜ計測技術者は魅力的に見えないのか？なぜ SICE 会員であることのメリットが広く知られないのだろうか？という素朴なテーマについて多面的に議論する。

(7) 教育グループ

急速に進化・変化しつつある産業界にあって、SICE 会員の力が存分に発揮できるよう教育面での会員サービスを企画・立案・実施する。具体的には以下の 5 個のワーキンググループ (WG) に分けて活動を進める。

1. 計測制御エンジニア WG

計測制御エンジニア講習会ならびに計測制御エンジニア試験の企画と実施。また関連する新事業の企画と実施。

2. JABEE 対応 WG

「横断型連合」としての新分野を検討し SICE 関連分野を明確にしてゆく。

3. CPD 制度 WG

継続教育を目的としてポイント制度の具体的導入を本年度中に行う。特典や管理方法についての検討を進展させる。また、日本技術士会や APEC とのリンクのための準備を進める。

4. PDE 協議会対応 WG

昨年度着手した教育マテリアルの教材としての活用を図る。

5. SICE 教育事業検討 WG

SICE を広義にとらえ新分野を含めた教育事業を企画・立案する。

(8) 会誌編集委員会

会誌「計測と制御」を年 12 回発行する。

SICE 会員への有用な学術・技術情報・学会情報の提供、会員間の意見交流を目的とする。さらに、会員・非会員を問わず、SICE の活動について、広く情報発信するメディアとして活用される会誌をめざす。

具体的な計画項目を以下に挙げる。

1. 会員にとって有用な情報をタイムリーに親しみやすく読みやすい形で提供するために、6 回の特集号と 6 回のミニ特集号を計画している。
2. 会誌編集を行うために、年 6 回の編集委員会と、特集号企画についての議論を集中的に行う泊り込み企画会議 1 回を開催する。
3. 編集委員会は、部門、支部推薦の委員で構成し、部門、支部の活動と連携のとれた紙面づくりをめざす。
4. 巻頭言、理事会だより、部門だより、支部だより、学界だよりの掲載により、学会員と学会の結びつきを密にする。
5. 平成 15 年度に実施した電子投稿・お知らせページのフォーマット変更を徹底し、さらにわかりやすい、見やすい掲載形態への改善に努める。
6. 他の委員会と連携して、ホームページによる情報発信のあり方を検討し、可能な部分から実践する。電子ジャーナルについては学会全体の動向に従って議論を進める。
7. 賛助会員へのサービス充実のための方策を検討する。
8. 学位情報記事の掲載をさらに充実させるとともに、学生企画欄など、学生会員の活性化につながる企画を検討する。

(9) 論文集委員会

論文集委員会の役割は、本学会員の優れた学術／技術的成果を発表する場であり本学会の情報発信源である論文集を滞ることなく発行することである。本委員会の活動目的の第一はこの定常的な業務を着実に実行することにある。また、学術論文誌としての高い質を保ち、多くの読者に支持されるものでなければならない。

学会論文誌は学会の学術的技術的な「顔」でもあり、この活動の活発化は学会活動の本来の目的である。これをふまえて査読期間の短縮、会誌や部門などの他の学会活動との連携による特集論文企画などを通じて論文誌の魅力を増大させ、学術的に高い質を維持する努力を行う。部門制に対応した論文誌の査読体制をさらに進め、これにより、部門制による学会活動の活性化が論文誌の直接および効果をもたらすと同時に、部門活動と密接に連携した論文集を目指す。

平成 13 年度に創刊した Web ジャーナルである英語論文集は、本年度はさらに本学会のもう一つの「顔」として、また、学会会員の国際的な成果発表と情報交換の場としての役割を果たすべく体制を整えたい。さらに、事業委員会傘下の産業論文集(これも Web ジャーナル)とも連携を保ち、英語論文集、産業論文集と論文集本誌が双方の役割を互いに補完して発展できるよう体制づくりに務めつつ、将来の学会論文誌のあり方を検討する。

平成 16 年度の具体的活動計画は以下の通りである。

1. 査読の経過に注意を払い、査読期間の短縮や査読の公正性の維持、著者、査読者、担当委員、事務局の利便性向上を図る。
2. 部門制に対応した論文集委員の構成、査読体制の運営をさらに進める。
3. 査読プロセスをはじめとして投稿から出版に至るまでの電子化について、その実現方法を各側面より検討し、実行に移す。
4. 部門、会誌と連携をとった特集論文集を企画する。
5. 従来の論文集のあり方を、電子化や Web ジャーナル(英語論文集、産業論文集)との関連も含めて検討する。

(10) 産業論文委員会

発足後 3 年目になる産業論文は、その投稿数も増え、ようやく本学会の特色ある顔の一つとして機能しつつある。

今年度はこの成長の機運をより拡大させるとともに、成長に伴って必要となってくる本学会の既存機能との再調整にも留意していく。

具体的な活動内容は以下の通りである。

1. 年度の掲載論文の目標を 25 (累積 40) 以上とする。

2. 投稿数増加のための「特集企画」、あるいは部門協議会への働きかけ等のオーガナイズを進める。
3. 「産業論文」の名称・内容、論文種類、査読規定等の見直しと再整備、さらには査読状況把握のオープン化を行う。
4. 学会 HP や会誌・論文集を通して、掲載論文一覧および現在の組織・制度の広報を強化する。
5. 投稿数の増加に対応できる AE (Associate Editor) の増加とカバーする分野の拡大を行う。
6. 本論文の持つ電子ジャーナルの機能を学会の既存機能での活用方法を検討する。

(1 1) 総務委員会

関連の委員会、事務局などと連携し、業務のより一層の効率化をめざす。

(1 2) 北海道支部

本年度の支部の活動は、支部会員の協力のもと、札幌で開催される Annual Conference の準備、運営を中心に力を注ぐこととなる。これを機会に学生等が、計測・制御の世界に興味を示すように努力したい。

以下に、本年度行う事業を記す。なお、例年 9 月に行っている支部シンポジウムは Annual Conference と時期も近いため本年度は開催しない。

- | | |
|--------------|--|
| 1. 講演会 | 6 回 (未定) |
| 2. 支部学術講演会 | 1 回 (04.1.22,23) |
| 3. 特別講演, 懇親会 | 1 回(04.1.22) |
| 4. システム科学研究会 | (11 月下旬) |
| 5. その他の協賛事業 | (未定) |
| 6. 第 41 回総会 | (04.1.22) |
| 7. 役員会 | |
| 評議員会 3 回 | 第 1 回 (1 月上旬) 第 2 回 (8 月下旬) 第 3 回 (12 月上旬) |
| 幹事会 3 回 | 第 1 回 (4 月下旬) 第 2 回 (8 月下旬) 第 3 回 (12 月上旬) |

(1 3) 東北支部

1. 研究集会の開催

支部創設以来、脈々と続いている口頭発表形式の研究会であり、昨年末現在で 213 回を数えている。本研究会は、東北 6 県の各県内で 1 回ずつ (宮城県のみ 2 回) 実施している。平成 16 年度も引き続き実施し、地域内の研究交流、学会の広報、若手会員の勧誘などを図る。また、30 歳以下の発表者の中で特に優秀な発表を行った者に対して東北支部優秀発表奨励賞を授与しており、今年度も引き続き実施する。また支部内での研究交流を促進すべく、研究集会における他地区での発表の奨励を積極的に行うとともに、新たな開催地の開拓にも力を入れる。

2. 支部設立 40 周年記念事業の実施

平成 16 年度に東北支部設立 40 周年を迎えることから、これに関連する事業を実施する。昨年度よりこの件に関する議論を既に進めており、これから具体的な実施内容を決定する。

3. 講演会の開催

主催・共催などの講演会を積極的に開催する。

4. 役員会の開催

支部運営の主体である運営専門委員会、ならびに役員・評議員・運営専門委員合同委員会を開催する。

(1 4) 中部支部

平成 16 年度においては、VR テクノロジー研究委員会、光波応用技術研究委員会、福祉工学研究委員会、電機計測制御システム研究委員会が新たに発足し、合計 7 つの研究委員会と 3 つの地区研究委員会が研究会、セミナー、シンポジウム、講演会、ワーキング・セミナー、見学会などを企画しつつ活動を行う予定である。また、研究委員会と支部事業委員会との共催行事によりいくつかの規模の大きい講演会、シンポジウムなどを企画予定である。事業委員会は支部賛助会員還元事業、特別講演会、講習会などの企画も予定している。また、支部賞についても例年通り選考を行い、功労賞についても選考を行う予定である。

- | | |
|---------------------|-------|
| 1. 特別講演会 (含, 特別講義会) | 数回 |
| 2. 見学会 | 数回 |
| 3. 講習会 | 1~2 回 |

4. 研究会（含、講演会、シンポジウム、セミナー）	約 30 回
5. 総会	1 回
6. 役員会	4 回
7. 評議員会	1 回

（15）北陸支部

本年度行う予定の事業は次の通りである。

1. 学術講演会 （電気関係学会北陸支部連合大会） （日本機械学会北陸信越支部学生員卒業研究発表講演会）	2 回
2. 講演会（特別講演会+5回の講演会）	6 回
3. セミナー	1 回
4. 見学会（富山の企業、賛助会員の企業を中心に）	2 回
5. 総会	1 回
6. 幹事会	6 回
7. 評議員会	1 回

（16）関西支部

関西支部における平成 15 年度の事業活動は、講習会、見学会、シンポジウムの開催に加え、学生会員活動を主目的に「学生連絡研究会」を発足させ新しい展開を開始した。

平成 16 年度は、従来事業に加えさらに研究会を充実させるべく、基金をベースにした新しい研究会をスタートさせるように立案を行っていく。またシンポジウムでの優秀発表論文には支部長賞を継続して授与する予定である。詳細は次の通り。

1. 特別講演会	1 回
2. 講習会	1 回
3. シンポジウム	1 回
4. 見学会	1 回
5. 研究会	2 回
6. 協賛事業	12 件
7. 支部総会	1 回
8. 支部幹事会	6 回
9. 委員会	18 回

（17）中国支部

本年度行う予定の事業は次の通りである。

1. 第 13 回計測自動制御学会中国支部学術講演会	1 回
2. 計測制御シンポジウム	2 回
3. グループ研究会	14 回
4. 講演会（他学会主催の講演会の共催を含む）	20 回
5. 見学会（他学会主催の講演会の共催を含む）	2 回
6. その他 計測自動制御学会部会行事、他学会中国支部行事などの共催	
7. 総会	1 回
8. 役員会（年度開始、中間期、年度末）	3 回
9. 拡大幹事会	1 回

（18）四国支部

平成 16 年度においては、さぬき制御システム研究会、えひめ先端技術研究会、ME 研究会の合計 3 つの研究会を発足する予定である。さらに、セミナー、シンポジウム、講演会、見学会などを企画しつつ活動を行い、地域の会員に貢献する。このような、地域の会員に対して魅力のある活動を通じて、新たな会員を確保し、会員数の増加を推進する。また、産学連携を推進するためにも、地域企業との関わりをもった事業活動について積極的に企画し、活動を行っていく予定である。

平成 16 年度に実施予定の事業は以下の通りである。

1. 学術講演会（主催・共催）	15 回
2. 共催研究会	3 回

3. 平成 16 年度電気関係学会四国支部連合大会（共催）	1 回
4. 見学会	1 回
5. 総会	1 回
6. 役員会	3 回

(19) 九州支部

本支部の事業方針および計画を以下に記す。

九州・沖縄地区の SICE 会員を主な対象として、地域の会員にとって魅力ある活動为目标に各種事業を展開する。具体的には、特別講演会、研究会、講義会、学術講演会、講演会を通して会員に研究活動とその教育の場および情報を提供する。学生活動の活性化とそれに伴う会員増加などへの取り組みを継続推進する。また、地域企業との関わりをもった事業活動にも引き続き重点を置く。総会、評議会、役員会、委員会では、支部運営・行事企画・実施を目的とする他、活動内容の検討にも積極的に取り組み、各事業の見直しなど新たな活動あり方について検討する。

以下に計画している事業を記す

1. 学術講演会	1 回
2. 講義会	1 回
3. 特別講演会	1 回
4. 研究会(SICE 九州フォーラム)	1 回
5. 共催研究会	1 回
6. 講演会	10 回
7. 見学会（計装研究会主催 本支部共催）	1 回
8. 総会	1 回
9. 役員会	5 回
10. 評議会	3 回
11. 委員会	4 回

II 事業

(1) 会誌「計測と制御」を毎月発行.

- 1月号 特集・小説・漫画・映画に登場した先端技術
- 2月号 特集・ロボティックバーチャルシステム
- 3月号 特集・社会に貢献する計測制御工学
- 4月号 特集・音の計測と処理
- 5月号 特集・ライフサイクルエンジニアリングと生産システム
- 6月号 ミニ特集・情報通信と制御におけるリアルタイム技術
- 7月号 ミニ特集・バイオメトリックスの新展開
- 8月号 ミニ特集・創発夏の学校
- 9月号 ミニ特集・モデル予測制御の産業応用への新展開
- 10月号 特集・産業に役立つ技術評価と TLO
- 11月号 特集・この“地球”をもっと知りたいーリモートセンシングへの期待ー
- 12月号 特集・エージェントベースドアプローチ

(2) 論文集「計測自動制御学会論文集」を毎月発行.

特集号「ロボティックバーチャルリアリティとシステムインテグレーション」
(Vol.40 No.2) を発行予定

(3) 産業論文

随時発行 (Web 公開)

(4) 英語論文

随時発行 (Web 公開)

(5) 講演会

(1) 主催 SICE Annual Conference 2004 in Sapporo

(04.8.4-6・札幌)

(2) 共 催 共催行事 15 回程度開催.

(6) 部門大会／部門学術講演会

各部門 1 回の部門大会／部門学術講演会を開催.

(7) 支部関係／支部学術講演会

各支部において、学術講演会、講演会、研究会、シンポジウム、見学会等の行事を随時開催.

(8) 講 習 会

講習会／セミナーを 5 回程度開催.

(9) シンポジウム

シンポジウムを 15 回程度開催.

(10) 部門活動

各部会／研究会による講演会、研究会、シンポジウム等の行事を随時開催.

(11) 国際会議（共催）

共催行事を 10 回程度開催.

(12) 出 版

計測・制御テクノロジーシリーズの刊行完成を目指す.

1. 先端科学技術シリーズとして分野にとらわれない技術のまとめを行い、刊行する.
2. 計測・制御テクノロジーシリーズの次の新企画を検討する.

III 学 会 賞

計測自動制御学会賞は、SICE Annual Conference 2004 in Sapporo 会場において贈呈.

IV 名 誉 会 員

名誉会員証は SICE Annual Conference 2004 in Sapporo 会場において贈呈.

V フェロウ

フェロー称号は SICE Annual Conference 2004 in Sapporo 会場において贈呈.

VI SICE 認定計測制御エンジニア

SICE 計測制御エンジニア認定証は第 44 回定時総会会場において贈呈

VII 部門賞・支部賞

部門賞および支部賞はそれぞれ部門大会／学術講演会等において贈呈.

VIII 会 議

1. 総 会 第 43 回定時総会 (04.2.23・東京大学山上会館)
2. 理事会 6 回
3. 役員・評議員懇談会 1 回
4. 支部長懇談会 1 回
5. 支部協議会 1 回
6. 賛助会員懇談会 1 回
7. 学生会員懇談会 1 回
8. 関連団体懇談会 1 回
9. 海外参加者懇談会 1 回
10. 各種委員会 本部および部門の各種委員会を随時開催.
11. 支部役員会／委員会 各支部総会、役員会、各種委員会を随時開催.

IX その他

- (1) 国際関係

1. 国際計測連合(IMEKO)への協力
2. 国際自動制御連盟(IFAC)への協力
3. APFICS への協力
4. ISA, CIS, IEEE, ICASE, CAC, CAA との交流
5. 来日外国学識者との交流
6. 海外技術調査派遣

(2) 国内関係

1. 工学会等関連学協会との協力
2. システム制御情報学会との事業協力
3. JABEE への協力
4. 横断型基幹科学技術研究団体連合への協力

平成 16 年度収支予算総括表

平成 16 年 1 月 1 日から平成 16 年 12 月 31 日まで

収入の部

(単位：円)

科目	合計	一般会計	部門協議会	支部会計	横断型プロジェクト	内部取引消去
1. 基本財産運用収入	23,000	23,000	0	0	0	
2. 会費収入	103,610,000	103,610,000	0	0	0	
3. 事業収入	117,393,000	72,255,000	35,687,000	4,508,000	4,943,000	
4. 寄附金収入	0	0	0	0	0	
5. 雑収入	8,604,231	8,545,000	12,500	46,731	0	
6. 固定資産売却収入	0	0	0	0	0	
7. 基金特定預金取崩収入	8,690,000	6,650,000	1,500,000	540,000	0	
8. 繰入金収入	2,500,000	8,532,247	9,150,000	14,246,800	0	△ 29,429,047
当期収入合計 (A)	240,820,231	199,615,247	46,349,500	19,341,531	4,943,000	△ 29,429,047
前期繰越収支差額	71,482,286	49,573,035	11,586,557	9,073,692	1,249,002	
収入合計 (B)	312,302,517	249,188,282	57,936,057	28,415,223	6,192,002	△ 29,429,047

支出の部

科目	合計	一般会計	部門協議会	支部会計	横断型プロジェクト	内部取引消去
1. 事業費	144,744,985	93,965,000	34,590,000	11,497,000	4,692,985	
2. 管理費	90,168,311	80,330,000	1,635,000	8,203,311	0	
3. 固定資産取得支出	680,000	600,000	0	80,000	0	
4. 基本財産繰入金支出	1,000,000	1,000,000	0	0	0	
5. 基金特定預金支出	6,051,000	1,035,500	4,000,000	1,015,500	0	
6. 繰入金支出	0	23,396,800	4,444,220	89,010	1,499,017	△ 29,429,047
7. 予備費	1,148,010	500,000	600,000	48,010	0	
当期支出合計 (C)	243,792,306	200,827,300	45,269,220	20,932,831	6,192,002	△ 29,429,047
当期収支差額 (A)-(C)	△ 2,972,075	△ 1,212,053	1,080,280	△ 1,591,300	△ 1,249,002	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	68,510,211	48,360,982	12,666,837	7,482,392	0	

平成 16 年度一般会計収支予算書

平成 16 年 1 月 1 日から平成 16 年 12 月 31 日まで

収入の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
1. 基本財産運用収入				
1.1 基本財産運用収入	23,000	12,000	11,000	
小 計	23,000	12,000	11,000	
2. 会費収入				
2.1 正会員会費収入	76,450,000	80,500,000	△ 4,050,000	
2.2 学生会員会費収入	3,960,000	3,600,000	360,000	
2.3 賛助会員会費収入	23,200,000	24,640,000	△ 1,440,000	
小 計	103,610,000	108,740,000	△ 5,130,000	
3. 事業収入				
3.1 広告収入	7,500,000	8,500,000	△ 1,000,000	
3.2 論文集収入	32,500,000	31,600,000	900,000	
3.3 産業論文収入	200,000	100,000	100,000	
3.4 Annual Conference 収入	15,055,000	13,775,000	1,280,000	
3.5 委員会事業収入	600,000	800,000	△ 200,000	
(1) 総会懇親会収入	100,000	100,000	0	
(2) 計測制御エンジニア収入	500,000	700,000	△ 200,000	
3.6 海外渡航者費用負担分収入	1,000,000	1,000,000	0	
3.7 規格調査収入	200,000	200,000	0	
3.8 会誌論文集収入	12,000,000	11,800,000	200,000	
3.9 IMEKO インターネットサービス収入	0	900,000	△ 900,000	
3.10 名簿頒布収入	200,000	3,000,000	△ 2,800,000	
3.11 教材(CD)頒布収入	3,000,000	0	3,000,000	
小 計	72,255,000	71,675,000	580,000	
4. 寄付金収入				
4.1 寄付金収入	0	0	0	
小 計	0	0	0	
5. 雑 収 入				
5.1 受取利息	45,000	67,000	△ 22,000	
5.2 日本工学会年金収入	0	0	0	
5.3 雑収入	8,500,000	7,500,000	1,000,000	
小 計	8,545,000	7,567,000	978,000	
6. 固定資産売却収入			0	
6.1 固定資産売却収入	0	0	0	
小 計	0	0	0	
7. 基金特定預金取崩収入			0	
7.1 退職給与引当預金取崩収入	0	0	0	
7.2 IT 化推進引当預金取崩収入	4,100,000	0	4,100,000	
7.3 事務所當繕引当預金取崩収入	0	0	0	
7.4 国際交流振興基金取崩収入	2,200,000	1,500,000	700,000	
7.5 蓮沼賞基金取崩収入	200,000	0	200,000	
7.6 友田賞基金取崩収入	60,000	0	60,000	
7.7 武田賞基金取崩収入	90,000	0	90,000	
小 計	6,650,000	1,500,000	5,150,000	
8. 繰入金収入			0	
8.1 繰入金収入 (国際会議剰余金等)	2,500,000	3,000,000	△ 500,000	
8.2 特別会計繰入金収入 (部門, 支部等)	6,032,247	5,128,160	904,087	
(1) 支部からの収入	0	0	0	
(2) 部門からの収入	3,730,280	4,330,280	△ 600,000	
(3) 横断型からの収入	1,216,017	0	1,216,017	
(4) 消費税相当額, その他	1,085,950	797,880	288,070	
小 計	8,532,247	8,128,160	404,087	
当期収入合計 (A)	199,615,247	197,622,160	1,993,087	
前期繰越収支差額	49,573,035	46,029,728	3,543,307	
収 入 合 計 (B)	249,188,282	243,651,888	5,536,394	

支出の部

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
1. 事業費				
1.1 会誌発行費	41,000,000	42,000,000	△ 1,000,000	
(1) 印刷費	27,000,000	28,000,000	△ 1,000,000	
(2) 通信運搬費	11,000,000	10,000,000	1,000,000	
(3) 原稿料	1,200,000	1,200,000	0	
(4) 編集費	1,800,000	1,800,000	0	
(5) 会誌原稿作成費	0	1,000,000	△ 1,000,000	
1.2 論文集発行費	15,000,000	15,000,000	0	
(1) 印刷費	10,500,000	10,500,000	0	
(2) 通信運搬費	2,800,000	2,600,000	200,000	
(3) 校閲料	600,000	700,000	△ 100,000	
(4) 編集費	1,100,000	1,200,000	△ 100,000	
1.3 産業論文発行費	150,000	100,000	50,000	
1.4 Annual Conference 費	15,875,000	15,275,000	600,000	
1.5 委員会事業費	8,290,000	2,780,000	5,510,000	
(1) 広報活動費	200,000	0	200,000	
(2) SICE Week 費	350,000	350,000	0	
(3) 時限部会活動費	800,000	1,000,000	△ 200,000	
(4) 総会懇親会費	250,000	240,000	10,000	
(5) 計測制御エンジニア費	500,000	700,000	△ 200,000	
(6) 国際委員会活動費	350,000	150,000	200,000	
(7) 会員委員会活動費	340,000	340,000	0	
(8) 事業委員会活動費	500,000	0	500,000	
(9) 教材(CD)作成費	2,000,000	0	2,000,000	
(10) 企画委員会活動費	3,000,000	0	3,000,000	
1.6 海外渡航調査費	1,000,000	1,000,000	0	
1.7 規格調査費	200,000	200,000	0	
1.8 学術交流会合費	400,000	400,000	0	
1.9 共催事業分担金	1,100,000	1,000,000	100,000	
1.10 フェロー関係費	300,000	300,000	0	
1.11 学会賞費	3,750,000	2,900,000	850,000	
1.12 IMEKO インターネットサービス費	0	900,000	△ 900,000	
1.13 名簿発行費	0	3,000,000	△ 3,000,000	
1.14 事業運営 IT 化推進費	4,000,000	0	4,000,000	
1.15 消費税	2,000,000	2,300,000	△ 300,000	
1.16 事業未収金回収不能額	900,000	1,500,000	△ 600,000	
小 計	93,965,000	88,655,000	5,310,000	
2. 管理費				
2.1 人件費	54,200,000	55,200,000	△ 1,000,000	
(1) 給与手当	42,000,000	43,500,000	△ 1,500,000	
(2) 福利厚生費	6,000,000	7,000,000	△ 1,000,000	
(3) 事務処理費	6,200,000	4,700,000	1,500,000	
2.2 旅費交通費	3,150,000	3,000,000	150,000	
2.3 通信運搬費	3,700,000	3,700,000	0	
2.4 消耗品費	2,600,000	2,500,000	100,000	
2.5 印刷製本費	700,000	900,000	△ 200,000	
2.6 事務所費	3,800,000	3,840,000	△ 40,000	
2.7 修繕費	0	0	0	
2.8 総会費	1,500,000	1,200,000	300,000	
2.9 理事会費	2,000,000	2,000,000	0	
2.10 会議費	2,000,000	2,000,000	0	
2.11 OA 関係諸雑費	1,500,000	1,700,000	△ 200,000	
2.12 公認会計士謝礼	530,000	530,000	0	
2.13 雑 費	500,000	900,000	△ 400,000	
2.14 退職手当	0	0	0	
2.15 日本工学会年金費	0	0	0	
2.16 会費自動引落費	550,000	560,000	△ 10,000	
2.17 OA 機器購入費	0	0	0	
2.18 会費還元費	100,000	200,000	△ 100,000	
2.19 会費未収金回収不能額	3,500,000	2,500,000	1,000,000	

小計	80,330,000	80,730,000	△ 400,000	
3. 固定資産取得支出				
3.1 什器備品購入支出	600,000	600,000	0	
小計	600,000	600,000	0	
4. 基本財産繰入支出				
4.1 基本財産繰入支出	1,000,000	1,000,000	0	
小計	1,000,000	1,000,000	0	
5. 基金特定預金支出				
5.1 退職給与引当預金支出	5,000	1,909,000	△ 1,904,000	
5.2 記念事業引当預金支出	2,000	4,000	△ 2,000	
5.3 IT化推進引当預金支出	5,000	8,000	△ 3,000	
5.4 事務所営繕引当預金支出	1,000	501,000	△ 500,000	
5.5 出版基金支出	2,000	4,000	△ 2,000	
5.6 国際交流振興基金支出	3,500	10,000	△ 6,500	
5.7 産学協同事業推進基金支出	8,000	8,000	0	
5.8 蓮沼賞基金支出	500	500	0	
5.9 友田賞基金支出	500	500	0	
5.10 武田賞基金支出	8,000	10,000	△ 2,000	
5.11 横断型基幹科学技術振興基金支出	1,000,000	0	1,000,000	
小計	1,035,500	2,455,000	△ 1,419,500	
6. 繰入金支出				
6.1 特別会計繰入金支出	23,396,800	23,600,400	△ 203,600	
(1) 支部への支出	14,246,800	14,450,400	△ 203,600	
(2) 部門への支出	9,000,000	9,000,000	0	
(3) 事業未収金回収不能引当支出	150,000	150,000	0	
小計	23,396,800	23,600,400	△ 203,600	
7. 予備費				
7.1 予備費	500,000	500,000	0	
小計	500,000	500,000	0	
当期支出合計 (C)	200,827,300	197,540,400	3,286,900	
当期収支差額 (A)-(C)	△ 1,212,053	81,760	△ 1,293,813	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	48,360,982	46,111,488	2,249,494	

平成 16 年度部門協議会収支予算書

平成 16 年 1 月 1 日から平成 16 年 12 月 31 日まで

(単位：円)

収入の部

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1 基本財産運用収入				
1.1 基本財産運用収入	0	0	0	
小 計	0	0	0	
2 会費収入				
2.1 会費収入	0	0	0	
小 計	0	0	0	
3 事業収入				
3.1 学術講演会収入	14,500,000	14,500,000	0	
3.2 部門大会収入	5,170,000	5,170,000	0	
3.3 講演会収入	602,000	602,000	0	
3.4 講習会収入	3,200,000	3,200,000	0	
3.5 シンポジウム収入	11,000,000	11,000,000	0	
3.6 研究会収入	1,200,000	1,200,000	0	
3.7 見学会収入	15,000	15,000	0	
3.8 分担金収入	0	0	0	
3.9 補助金・助成金収入	0	0	0	
小 計	35,687,000	35,687,000	0	
4 寄附金収入				
4.1 寄附金収入	0	0	0	
小 計	0	0	0	
5 雑収入				
5.1 受取利息	2,500	2,500	0	
5.2 雑収入	10,000	10,000	0	
小 計	12,500	12,500	0	
6 固定資産売却収入				
6.1 固定資産売却収入	0	0	0	
小 計	0	0	0	
7 基金特定預金取崩収入				
7.1 基金特定預金取崩収入	1,500,000	100,000	1,400,000	
小 計	1,500,000	100,000	1,400,000	
8 繰入金収入				
8.1 交付金収入	9,000,000	9,000,000	0	
8.2 特別交付金収入	0	0	0	
8.3 繰入金収入	0	0	0	
8.4 未収金補填収入	150,000	150,000	0	
8.5 資産繰入金収入	0	0	0	
小 計	9,150,000	9,150,000	0	
当期収入合計(A)	46,349,500	44,949,500	1,400,000	
前期繰越収支差額	11,586,557	19,478,765	△ 7,892,208	
収入合計(B)	57,936,057	64,428,265	△ 6,492,208	

支出の部

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1 事業費				
1.1 学術講演会費	11,850,000	11,850,000	0	
1.2 部門大会費	3,600,000	3,600,000	0	
1.3 講演会費	2,500,000	1,500,000	1,000,000	
1.4 講習会費	2,060,000	2,060,000	0	
1.5 シンポジウム費	11,000,000	11,000,000	0	
1.6 研究会費	2,500,000	2,200,000	300,000	
1.7 見学会費	30,000	30,000	0	
1.8 部門賞費	550,000	550,000	0	
1.9 共催事業分担金	200,000	0	200,000	
1.10 事業未収金回収不能額	300,000	300,000	0	
小 計	34,590,000	33,090,000	1,500,000	
2 管理費				
2.1 総会費	0	0	0	
2.2 役員会費	350,000	650,000	△ 300,000	
2.3 人件費	0	0	0	
2.4 通信運搬費	65,000	65,000	0	
2.5 旅費交通費	975,000	975,000	0	
2.6 印刷製本費	0	0	0	
2.7 消耗品費	120,000	120,000	0	
2.8 事務所費	0	0	0	
2.9 雑費	125,000	125,000	0	
2.10 交付金未収金回収不能額	0	0	0	
小 計	1,635,000	1,935,000	△ 300,000	
3 固定資産取得支出				
3.1 什器備品購入支出	0	0	0	
小 計	0	0	0	
4 基本財産繰入支出				
4.1 基本財産繰入支出	0	0	0	
小 計	0	0	0	
5 基金特定預金支出				
5.1 基金特定預金支出	4,000,000	3,600,000	400,000	
小 計	4,000,000	3,600,000	400,000	
6 特別会計繰入金支出				
6.1 一般会計繰入金支出	3,730,280	4,330,280	△ 600,000	
6.2 消費税相当額	713,940	713,940	0	
小 計	4,444,220	5,044,220	△ 600,000	
7 予備費				
7.1 予備費	600,000	600,000	0	
小 計	600,000	600,000	0	
当期支出合計(C)	45,269,220	44,269,220	1,000,000	
当期収支差額(A)-(C)	1,080,280	680,280	400,000	
次期繰越収支差額(B)-(C)	12,666,837	20,159,045	△ 7,492,208	

平成 16 年度支部収支予算総括表

平成 16 年 1 月 1 日から平成 16 年 12 月 31 日まで

収入の部

(単位：円)

科目	支部会計合計	北海道支部	東北支部	中部支部	北陸支部	関西支部	中国支部	四国支部	九州支部
1. 基本財産運用収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 会費収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3. 事業収入	4,508,000	435,000	0	175,000	0	1,060,000	1,668,000	0	1,170,000
4. 寄附金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5. 雑収入	46,731	10	1	1,020	30,050	500	15,000	100	50
6. 固定資産売却収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7. 基金特定預金取崩収入	540,000	0	300,000	140,000	0	0	0	0	100,000
8. 繰入金収入	14,246,800	654,200	1,087,000	3,617,000	803,200	3,494,200	1,701,000	749,200	2,141,000
当期収入合計 (A)	19,341,531	1,089,210	1,387,001	3,933,020	833,250	4,554,700	3,384,000	749,300	3,411,050
前期繰越収支差額	9,073,692	383,756	267,745	1,386,483	3,214,946	671,979	1,568,897	705,777	874,109
収入合計 (B)	28,415,223	1,472,966	1,654,746	5,319,503	4,048,196	5,226,679	4,952,897	1,455,077	4,285,159

支出の部

科目	支部会計合計	北海道支部	東北支部	中部支部	北陸支部	関西支部	中国支部	四国支部	九州支部
1. 事業費	11,497,000	860,000	777,000	2,380,000	480,000	1,730,000	2,620,000	440,000	2,210,000
2. 管理費	8,203,311	220,510	610,001	1,445,000	480,000	2,803,500	1,155,000	309,300	1,180,000
3. 固定資産取得支出	80,000	0	0	80,000	0	0	0	0	0
4. 基本財産繰入金支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5. 基金特定預金支出	1,015,500	0	0	500	1,000,000	0	15,000	0	0
6. 繰入金支出	89,010	8,700	0	3,510	600	21,200	32,800	0	22,200
7. 予備費	48,010	0	0	24,010	10,000	0	14,000	0	0
当期支出合計 (C)	20,932,831	1,089,210	1,387,001	3,933,020	1,970,600	4,554,700	3,836,800	749,300	3,412,200
当期収支差額 (A)-(C)	△ 1,591,300	0	0	0	△ 1,137,350	0	△ 452,800	0	△ 1,150
次期繰越収支差額 (B)-(C)	7,482,392	383,756	267,745	1,386,483	2,077,596	671,979	1,116,097	705,777	872,959

平成 16 年度北海道支部収支予算書

平成 16 年 1 月 1 日から平成 16 年 12 月 31 日まで

収入の部

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1 基本財産運用収入				
1.1 基本財産運用収入	0	0	0	
小 計	0	0	0	
2 会費収入				
2.1 会費収入	0	0	0	
小 計	0	0	0	
3 事業収入				
3.1 学術講演会収入	435,000	450,000	△ 15,000	
3.2 講演会収入	0	0	0	
3.3 講習会収入	0	0	0	
3.4 シンポジウム収入	0	140,000	△ 140,000	
3.5 研究会収入	0	0	0	
3.6 見学会収入	0	0	0	
3.7 分担金収入	0	0	0	
3.8 補助金・助成金収入	0	0	0	
小 計	435,000	590,000	△ 155,000	
4 寄附金収入				
4.1 寄附金収入	0	0	0	
小 計	0	0	0	
5 雑収入				
5.1 受取利息	10	160	△ 150	
5.2 雑収入	0	0	0	
小 計	10	160	△ 150	
6 固定資産売却収入				
6.1 固定資産売却収入	0	0	0	
小 計	0	0	0	
7 基金特定預金取崩収入				
7.1 基金特定預金取崩収入	0	0	0	
小 計	0	0	0	
8 繰入金収入				
8.1 交付金収入	654,200	654,200	0	
8.2 特別交付金収入	0	0	0	
8.3 繰入金収入	0	0	0	
8.4 未収金補填収入	0	0	0	
8.5 資産繰入金収入	0	0	0	
小 計	654,200	654,200	0	
当期収入合計(A)	1,089,210	1,244,360	△ 155,150	
前期繰越収支差額	383,756	1,053,375	△ 669,619	
収入合計(B)	1,472,966	2,297,735	△ 824,769	

支出の部

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1 事業費				
1.1 学術講演会費	650,000	600,000	50,000	
1.2 講演会費	70,000	70,000	0	
1.3 講習会費	0	0	0	
1.4 シンポジウム費	0	200,000	△ 200,000	
1.5 研究会費	100,000	100,000	0	
1.6 見学会費	10,000	10,000	0	
1.7 支部賞費	0	0	0	
1.8 共催事業分担金	30,000	30,000	0	
1.9 事業未収金回収不能額	0	0	0	
小 計	860,000	1,010,000	△ 150,000	
2 管理費				
2.1 総会費	30,000	30,000	0	
2.2 役員会費	10,000	10,000	0	
2.3 人件費	30,000	50,000	△ 20,000	
2.4 通信運搬費	22,000	12,000	10,000	
2.5 旅費交通費	80,000	80,000	0	
2.6 印刷製本費	25,000	20,000	5,000	
2.7 消耗品費	22,000	20,000	2,000	
2.8 事務所費	0	0	0	
2.9 OA関係諸雑費	0	0	0	
2.10 雑費	1,510	560	950	
2.11 交付金未収金回収不能額	0	0	0	
小 計	220,510	222,560	△ 2,050	
3 固定資産取得支出				
3.1 什器備品購入支出	0	0	0	
小 計	0	0	0	
4 基本財産繰入支出				
4.1 基本財産繰入支出	0	0	0	
小 計	0	0	0	
5 基金特定預金支出				
5.1 基金特定預金支出	0	683,701	△ 683,701	
小 計	0	683,701	△ 683,701	
6 繰入金支出				
6.1 一般会計繰入金支出	0	0	0	
6.2 消費税相当額	8,700	11,800	△ 3,100	
小 計	8,700	11,800	△ 3,100	
7 予備費				
7.1 予備費	0	0	0	
小 計	0	0	0	
当期支出合計(C)	1,089,210	1,928,061	△ 838,851	
当期収支差額(A)-(C)	0	△ 683,701	683,701	
次期繰越収支差額(B)-(C)	383,756	369,674	14,082	

平成 16 年度東北支部収支予算書

平成 16 年 1 月 1 日から平成 16 年 12 月 31 日まで

収入の部

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1 基本財産運用収入				
1.1 基本財産運用収入	0	0	0	
小 計	0	0	0	
2 会費収入				
2.1 会費収入	0	0	0	
小 計	0	0	0	
3 事業収入				
3.1 学術講演会収入	0	0	0	
3.2 講演会収入	0	0	0	
3.3 講習会収入	0	0	0	
3.4 シンポジウム収入	0	0	0	
3.5 研究会収入	0	0	0	
3.6 見学会収入	0	0	0	
3.7 分担金収入	0	0	0	
3.8 補助金・助成金収入	0	0	0	
小 計	0	0	0	
4 寄附金収入				
4.1 寄附金収入	0	0	0	
小 計	0	0	0	
5 雑収入				
5.1 受取利息	1	68	△ 67	
5.2 雑収入	0	0	0	
小 計	1	68	△ 67	
6 固定資産売却収入				
6.1 固定資産売却収入	0	0	0	
小 計	0	0	0	
7 基金特定預金取崩収入				
7.1 基金特定預金取崩収入	300,000	0	300,000	
小 計	300,000	0	300,000	
8 繰入金収入				
8.1 交付金収入	1,087,000	1,091,400	△ 4,400	
8.2 特別交付金収入	0	0	0	
8.3 繰入金収入	0	0	0	
8.4 未収金補填収入	0	0	0	
8.5 資産繰入金収入	0	0	0	
小 計	1,087,000	1,091,400	△ 4,400	
当期収入合計(A)	1,387,001	1,091,468	295,533	
前期繰越収支差額	267,745	268,368	△ 623	
収入合計(B)	1,654,746	1,359,836	294,910	

支出の部

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1 事業費				
1.1 学術講演会費	0	0	0	
1.2 講演会費	387,000	60,000	327,000	
1.3 講習会費	0	0	0	
1.4 シンポジウム費	0	0	0	
1.5 研究会費	350,000	350,000	0	
1.6 見学会費	0	0	0	
1.7 支部賞費	0	0	0	
1.8 共催事業分担金	40,000	0	40,000	
1.9 事業未収金回収不能額	0	0	0	
小 計	777,000	410,000	367,000	
2 管理費				
2.1 総会費	0	0	0	
2.2 役員会費	180,000	250,000	△ 70,000	
2.3 人件費	0	0	0	
2.4 通信運搬費	100,000	70,000	30,000	
2.5 旅費交通費	240,000	310,000	△ 70,000	
2.6 印刷製本費	80,000	0	80,000	
2.7 消耗品費	10,001	50,000	△ 39,999	
2.8 事務所費	0	0	0	
2.9 OA関係諸雑費	0	0	0	
2.10 雑費	0	1,468	△ 1,468	
2.11 交付金未収金回収不能額	0	0	0	
小 計	610,001	681,468	△ 71,467	
3 固定資産取得支出				
3.1 什器備品購入支出	0	0	0	
小 計	0	0	0	
4 基本財産繰入支出				
4.1 基本財産繰入支出	0	0	0	
小 計	0	0	0	
5 基金特定預金支出				
5.1 基金特定預金支出	0	0	0	
小 計	0	0	0	
6 繰入金支出				
6.1 一般会計繰入金支出	0	0	0	
6.2 消費税相当額	0	0	0	
小 計	0	0	0	
7 予備費				
7.1 予備費	0	0	0	
小 計	0	0	0	
当期支出合計(C)	1,387,001	1,091,468	295,533	
当期収支差額(A)-(C)	0	0	0	
次期繰越収支差額(B)-(C)	267,745	268,368	△ 623	

平成 16 年度中部支部収支予算書

平成 16 年 1 月 1 日から平成 16 年 12 月 31 日まで

収入の部

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1 基本財産運用収入				
1.1 基本財産運用収入	0	0	0	
小 計	0	0	0	
2 会費収入				
2.1 会費収入	0	0	0	
小 計	0	0	0	
3 事業収入				
3.1 学術講演会収入	5,000	0	5,000	
3.2 講演会収入	10,000	100,000	△ 90,000	
3.3 講習会収入	10,000	0	10,000	
3.4 シンポジウム収入	150,000	0	150,000	
3.5 研究会収入	0	0	0	
3.6 見学会収入	0	0	0	
3.7 分担金収入	0	0	0	
3.8 補助金・助成金収入	0	0	0	
小 計	175,000	100,000	75,000	
4 寄附金収入				
4.1 寄附金収入	0	0	0	
小 計	0	0	0	
5 雑収入				
5.1 受取利息	520	500	20	
5.2 雑収入	500	2,000	△ 1,500	
小 計	1,020	2,500	△ 1,480	
6 固定資産売却収入				
6.1 固定資産売却収入	0	0	0	
小 計	0	0	0	
7 基金特定預金取崩収入				
7.1 基金特定預金取崩収入	140,000	140,000	0	
小 計	140,000	140,000	0	
8 繰入金収入				
8.1 交付金収入	3,617,000	3,463,200	153,800	
8.2 特別交付金収入	0	0	0	
8.3 繰入金収入	0	0	0	
8.4 未収金補填収入	0	0	0	
8.5 資産繰入金収入	0	0	0	
小 計	3,617,000	3,463,200	153,800	
当期収入合計(A)	3,933,020	3,705,700	227,320	
前期繰越収支差額	1,386,483	1,222,964	163,519	
収入合計(B)	5,319,503	4,928,664	390,839	

支出の部

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1 事業費				
1.1 学術講演会費	100,000	200,000	△ 100,000	
1.2 講演会費	200,000	140,000	60,000	
1.3 講習会費	200,000	160,000	40,000	
1.4 シンポジウム費	550,000	400,000	150,000	
1.5 研究会費	990,000	990,000	0	
1.6 見学会費	200,000	90,000	110,000	
1.7 支部賞費	140,000	140,000	0	
1.8 共催事業分担金	0	0	0	
1.9 事業未収金回収不能額	0	0	0	
小 計	2,380,000	2,120,000	260,000	
2 管理費				
2.1 総会費	100,000	100,000	0	
2.2 役員会費	380,000	300,000	80,000	
2.3 人件費	400,000	400,000	0	
2.4 通信運搬費	100,000	150,000	△ 50,000	
2.5 旅費交通費	300,000	380,000	△ 80,000	
2.6 印刷製本費	50,000	30,000	20,000	
2.7 消耗品費	30,000	28,660	1,340	
2.8 事務所費	0	0	0	
2.9 OA関係諸雑費	80,000	0	80,000	
2.10 雑費	5,000	5,000	0	
2.11 交付金未収金回収不能額	0	0	0	
小 計	1,445,000	1,393,660	51,340	
3 固定資産取得支出				
3.1 什器備品購入支出	80,000	0	80,000	
小 計	80,000	0	80,000	
4 基本財産繰入支出				
4.1 基本財産繰入支出	0	0	0	
小 計	0	0	0	
5 基金特定預金支出				
5.1 基金特定預金支出	500	0	500	
小 計	500	0	500	
6 繰入金支出				
6.1 一般会計繰入金支出	0	0	0	
6.2 消費税相当額	3,510	2,040	1,470	
小 計	3,510	2,040	1,470	
7 予備費				
7.1 予備費	24,010	50,000	△ 25,990	
小 計	24,010	50,000	△ 25,990	
当期支出合計(C)	3,933,020	3,565,700	367,320	
当期収支差額(A)-(C)	0	140,000	△ 140,000	
次期繰越収支差額(B)-(C)	1,386,483	1,362,964	23,519	

平成 16 年度北陸支部収支予算書

平成 16 年 1 月 1 日から平成 16 年 12 月 31 日まで

収入の部

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1 基本財産運用収入				
1.1 基本財産運用収入	0	0	0	
小 計	0	0	0	
2 会費収入				
2.1 会費収入	0	0	0	
小 計	0	0	0	
3 事業収入				
3.1 学術講演会収入	0	0	0	
3.2 講演会収入	0	0	0	
3.3 講習会収入	0	0	0	
3.4 シンポジウム収入	0	0	0	
3.5 研究会収入	0	0	0	
3.6 見学会収入	0	0	0	
3.7 分担金収入	0	0	0	
3.8 補助金・助成金収入	0	0	0	
小 計	0	0	0	
4 寄附金収入				
4.1 寄附金収入	0	0	0	
小 計	0	0	0	
5 雑収入				
5.1 受取利息	50	500	△ 450	
5.2 雑収入	30,000	30,000	0	
小 計	30,050	30,500	△ 450	
6 固定資産売却収入				
6.1 固定資産売却収入	0	0	0	
小 計	0	0	0	
7 基金特定預金取崩収入				
7.1 基金特定預金取崩収入	0	500,000	△ 500,000	
小 計	0	500,000	△ 500,000	
8 繰入金収入				
8.1 交付金収入	803,200	803,200	0	
8.2 特別交付金収入	0	0	0	
8.3 繰入金収入	0	0	0	
8.4 未収金補填収入	0	0	0	
8.5 資産繰入金収入	0	0	0	
小 計	803,200	803,200	0	
当期収入合計(A)	833,250	1,333,700	△ 500,450	
前期繰越収支差額	3,214,946	2,099,116	1,115,830	
収入合計(B)	4,048,196	3,432,816	615,380	

支出の部

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1 事業費				
1.1 学術講演会費	100,000	100,000	0	
1.2 講演会費	200,000	150,000	50,000	
1.3 講習会費	150,000	100,000	50,000	
1.4 シンポジウム費	0	0	0	
1.5 研究会費	0	0	0	
1.6 見学会費	0	0	0	
1.7 支部賞費	10,000	20,000	△ 10,000	
1.8 共催事業分担金	20,000	500,000	△ 480,000	
1.9 事業未収金回収不能額	0	0	0	
小 計	480,000	870,000	△ 390,000	
2 管理費				
2.1 総会費	120,000	120,000	0	
2.2 役員会費	100,000	100,000	0	
2.3 人件費	30,000	30,000	0	
2.4 通信運搬費	30,000	30,000	0	
2.5 旅費交通費	150,000	150,000	0	
2.6 印刷製本費	40,000	10,000	30,000	
2.7 消耗品費	0	0	0	
2.8 事務所費	0	0	0	
2.9 OA関係諸雑費	0	0	0	
2.10 雑費	10,000	10,000	0	
2.11 交付金未収金回収不能額	0	0	0	
小 計	480,000	450,000	30,000	
3 固定資産取得支出				
3.1 什器備品購入支出	0	0	0	
小 計	0	0	0	
4 基本財産繰入支出				
4.1 基本財産繰入支出	0	0	0	
小 計	0	0	0	
5 基金特定預金支出				
5.1 基金特定預金支出	1,000,000	1,000,000	0	
小 計	1,000,000	1,000,000	0	
6 繰入金支出				
6.1 一般会計繰入金支出	0	0	0	
6.2 消費税相当額	600	600	0	
小 計	600	600	0	
7 予備費				
7.1 予備費	10,000	13,100	△ 3,100	
小 計	10,000	13,100	△ 3,100	
当期支出合計(C)	1,970,600	2,333,700	△ 363,100	
当期収支差額(A)-(C)	△ 1,137,350	△ 1,000,000	△ 137,350	
次期繰越収支差額(B)-(C)	2,077,596	1,099,116	978,480	

平成 16 年度関西支部収支予算書

平成 16 年 1 月 1 日から平成 16 年 12 月 31 日まで

収入の部

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1 基本財産運用収入				
1.1 基本財産運用収入	0	0	0	
小 計	0	0	0	
2 会費収入				
2.1 会費収入	0	0	0	
小 計	0	0	0	
3 事業収入				
3.1 学術講演会収入	0	0	0	
3.2 講演会収入	120,000	60,000	60,000	
3.3 講習会収入	400,000	400,000	0	
3.4 シンポジウム収入	300,000	50,000	250,000	
3.5 研究会収入	0	0	0	
3.6 見学会収入	240,000	240,000	0	
3.7 分担金収入	0	0	0	
3.8 補助金・助成金収入	0	0	0	
小 計	1,060,000	750,000	310,000	
4 寄附金収入				
4.1 寄附金収入	0	0	0	
小 計	0	0	0	
5 雑収入				
5.1 受取利息	500	300	200	
5.2 雑収入	0	5,000	△ 5,000	
小 計	500	5,300	△ 4,800	
6 固定資産売却収入				
6.1 固定資産売却収入	0	0	0	
小 計	0	0	0	
7 基金特定預金取崩収入				
7.1 基金特定預金取崩収入	0	0	0	
小 計	0	0	0	
8 繰入金収入				
8.1 交付金収入	3,494,200	3,673,600	△ 179,400	
8.2 特別交付金収入	0	0	0	
8.3 繰入金収入	0	0	0	
8.4 未収金補填収入	0	0	0	
8.5 資産繰入金収入	0	0	0	
小 計	3,494,200	3,673,600	△ 179,400	
当期収入合計(A)	4,554,700	4,428,900	125,800	
前期繰越収支差額	671,979	1,433,836	△ 761,857	
収入合計(B)	5,226,679	5,862,736	△ 636,057	

支出の部

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1 事業費				
1.1 学術講演会費	0	0	0	
1.2 講演会費	0	0	0	
1.3 講習会費	630,000	700,000	△ 70,000	
1.4 シンポジウム費	540,000	350,000	190,000	
1.5 研究会費	100,000	200,000	△ 100,000	
1.6 見学会費	460,000	560,000	△ 100,000	
1.7 支部賞費	0	0	0	
1.8 共催事業分担金	0	0	0	
1.9 事業未収金回収不能額	0	0	0	
小 計	1,730,000	1,810,000	△ 80,000	
2 管理費				
2.1 総会費	600,000	640,000	△ 40,000	
2.2 役員会費	400,000	400,000	0	
2.3 人件費	1,000,000	1,000,000	0	
2.4 通信運搬費	150,000	150,000	0	
2.5 旅費交通費	150,000	150,000	0	
2.6 印刷製本費	120,000	120,000	0	
2.7 消耗品費	20,000	20,000	0	
2.8 事務所費	360,000	360,000	0	
2.9 OA関係諸雑費	0	0	0	
2.10 雑費	3,500	7,000	△ 3,500	
2.11 交付金未収金回収不能額	0	0	0	
小 計	2,803,500	2,847,000	△ 43,500	
3 固定資産取得支出				
3.1 什器備品購入支出	0	0	0	
小 計	0	0	0	
4 基本財産繰入支出				
4.1 基本財産繰入支出	0	0	0	
小 計	0	0	0	
5 基金特定預金支出				
5.1 基金特定預金支出	0	0	0	
小 計	0	0	0	
6 繰入金支出				
6.1 一般会計繰入金支出	0	0	0	
6.2 消費税相当額	21,200	15,100	6,100	
小 計	21,200	15,100	6,100	
7 予備費				
7.1 予備費	0	0	0	
小 計	0	0	0	
当期支出合計(C)	4,554,700	4,672,100	△ 117,400	
当期収支差額(A)-(C)	0	△ 243,200	243,200	
次期繰越収支差額(B)-(C)	671,979	1,190,636	△ 518,657	

平成 16 年度中国支部収支予算書

平成 16 年 1 月 1 日から平成 16 年 12 月 31 日まで

収入の部

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1 基本財産運用収入				
1.1 基本財産運用収入	0	0	0	
小 計	0	0	0	
2 会費収入				
2.1 会費収入	0	0	0	
小 計	0	0	0	
3 事業収入				
3.1 学術講演会収入	1,490,000	1,600,000	△ 110,000	
3.2 講演会収入	0	0	0	
3.3 講習会収入	0	0	0	
3.4 シンポジウム収入	150,000	0	150,000	
3.5 研究会収入	0	0	0	
3.6 見学会収入	0	0	0	
3.7 分担金収入	28,000	24,000	4,000	
3.8 補助金・助成金収入	0	0	0	
小 計	1,668,000	1,624,000	44,000	
4 寄附金収入				
4.1 寄附金収入	0	0	0	
小 計	0	0	0	
5 雑収入				
5.1 受取利息	15,000	12,000	3,000	
5.2 雑収入	0	0	0	
小 計	15,000	12,000	3,000	
6 固定資産売却収入				
6.1 固定資産売却収入	0	0	0	
小 計	0	0	0	
7 基金特定預金取崩収入				
7.1 基金特定預金取崩収入	0	0	0	
小 計	0	0	0	
8 繰入金収入				
8.1 交付金収入	1,701,000	1,764,800	△ 63,800	
8.2 特別交付金収入	0	0	0	
8.3 繰入金収入	0	0	0	
8.4 未収金補填収入	0	0	0	
8.5 資産繰入金収入	0	0	0	
小 計	1,701,000	1,764,800	△ 63,800	
当期収入合計(A)	3,384,000	3,400,800	△ 16,800	
前期繰越収支差額	1,568,897	1,372,028	196,869	
収入合計(B)	4,952,897	4,772,828	180,069	

支出の部

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1 事業費				
1.1 学術講演会費	1,490,000	1,600,000	△ 110,000	
1.2 講演会費	400,000	400,000	0	
1.3 講習会費	0	0	0	
1.4 シンポジウム費	450,000	0	450,000	
1.5 研究会費	280,000	260,000	20,000	
1.6 見学会費	0	0	0	
1.7 支部賞費	0	0	0	
1.8 共催事業分担金	0	0	0	
1.9 事業未収金回収不能額	0	0	0	
小 計	2,620,000	2,260,000	360,000	
2 管理費				
2.1 総会費	500,000	500,000	0	
2.2 役員会費	400,000	400,000	0	
2.3 人件費	100,000	100,000	0	
2.4 通信運搬費	55,000	30,000	25,000	
2.5 旅費交通費	50,000	0	50,000	
2.6 印刷製本費	0	0	0	
2.7 消耗品費	30,000	30,000	0	
2.8 事務所費	0	0	0	
2.9 OA関係諸雑費	0	0	0	
2.10 雑費	20,000	30,000	△ 10,000	
2.11 交付金未収金回収不能額	0	0	0	
小 計	1,155,000	1,090,000	65,000	
3 固定資産取得支出				
3.1 什器備品購入支出	0	0	0	
小 計	0	0	0	
4 基本財産繰入支出				
4.1 基本財産繰入支出	0	0	0	
小 計	0	0	0	
5 基金特定預金支出				
5.1 基金特定預金支出	15,000	0	15,000	
小 計	15,000	0	15,000	
6 繰入金支出				
6.1 一般会計繰入金支出	0	0	0	
6.2 消費税相当額	32,800	32,000	800	
小 計	32,800	32,000	800	
7 予備費				
7.1 予備費	14,000	18,800	△ 4,800	
小 計	14,000	18,800	△ 4,800	
当期支出合計(C)	3,836,800	3,400,800	436,000	
当期収支差額(A)-(C)	△ 452,800	0	△ 452,800	
次期繰越収支差額(B)-(C)	1,116,097	1,372,028	△ 255,931	

平成 16 年度四国支部収支予算書

平成 16 年 1 月 1 日から平成 16 年 12 月 31 日まで

収入の部

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1 基本財産運用収入				
1.1 基本財産運用収入	0	0	0	
小 計	0	0	0	
2 会費収入				
2.1 会費収入	0	0	0	
小 計	0	0	0	
3 事業収入				
3.1 学術講演会収入	0	0	0	
3.2 講演会収入	0	0	0	
3.3 講習会収入	0	0	0	
3.4 シンポジウム収入	0	0	0	
3.5 研究会収入	0	0	0	
3.6 見学会収入	0	0	0	
3.7 分担金収入	0	0	0	
3.8 補助金・助成金収入	0	0	0	
小 計	0	0	0	
4 寄附金収入				
4.1 寄附金収入	0	0	0	
小 計	0	0	0	
5 雑収入				
5.1 受取利息	100	200	△ 100	
5.2 雑収入	0	0	0	
小 計	100	200	△ 100	
6 固定資産売却収入				
6.1 固定資産売却収入	0	0	0	
小 計	0	0	0	
7 基金特定預金取崩収入				
7.1 基金特定預金取崩収入	0	0	0	
小 計	0	0	0	
8 繰入金収入				
8.1 交付金収入	749,200	762,400	△ 13,200	
8.2 特別交付金収入	0	0	0	
8.3 繰入金収入	0	0	0	
8.4 未収金補填収入	0	0	0	
8.5 資産繰入金収入	0	0	0	
小 計	749,200	762,400	△ 13,200	
当期収入合計(A)	749,300	762,600	△ 13,300	
前期繰越収支差額	705,777	1,181,810	△ 476,033	
収入合計(B)	1,455,077	1,944,410	△ 489,333	

支出の部

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1 事業費				
1.1 学術講演会費	220,000	220,000	0	
1.2 講演会費	80,000	80,000	0	
1.3 講習会費	0	0	0	
1.4 シンポジウム費	0	0	0	
1.5 研究会費	90,000	60,000	30,000	
1.6 見学会費	0	0	0	
1.7 支部賞費	0	0	0	
1.8 共催事業分担金	50,000	50,000	0	
1.9 事業未収金回収不能額	0	0	0	
小 計	440,000	410,000	30,000	
2 管理費				
2.1 総会費	20,000	20,000	0	
2.2 役員会費	24,000	30,000	△ 6,000	
2.3 人件費	0	0	0	
2.4 通信運搬費	60,000	80,000	△ 20,000	
2.5 旅費交通費	190,000	210,000	△ 20,000	
2.6 印刷製本費	0	0	0	
2.7 消耗品費	15,300	12,600	2,700	
2.8 事務所費	0	0	0	
2.9 OA関係諸雑費	0	0	0	
2.10 雑費	0	0	0	
2.11 交付金未収金回収不能額	0	0	0	
小 計	309,300	352,600	△ 43,300	
3 固定資産取得支出				
3.1 什器備品購入支出	0	0	0	
小 計	0	0	0	
4 基本財産繰入支出				
4.1 基本財産繰入支出	0	0	0	
小 計	0	0	0	
5 基金特定預金支出				
5.1 基金特定預金支出	0	700,000	△ 700,000	
小 計	0	700,000	△ 700,000	
6 繰入金支出				
6.1 一般会計繰入金支出	0	0	0	
6.2 消費税相当額	0	0	0	
小 計	0	0	0	
7 予備費				
7.1 予備費	0	0	0	
小 計	0	0	0	
当期支出合計(C)	749,300	1,462,600	△ 713,300	
当期収支差額(A)-(C)	0	△ 700,000	700,000	
次期繰越収支差額(B)-(C)	705,777	481,810	223,967	

平成 16 年度九州支部収支予算書

平成 16 年 1 月 1 日から平成 16 年 12 月 31 日まで

収入の部

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1 基本財産運用収入				
1.1 基本財産運用収入	0	0	0	
小 計	0	0	0	
2 会費収入				
2.1 会費収入	0	0	0	
小 計	0	0	0	
3 事業収入				
3.1 学術講演会収入	1,100,000	1,100,000	0	
3.2 講演会収入	0	0	0	
3.3 講習会収入	0	0	0	
3.4 シンポジウム収入	10,000	20,000	△ 10,000	
3.5 研究会収入	0	0	0	
3.6 見学会収入	0	0	0	
3.7 分担金収入	60,000	0	60,000	
3.8 補助金・助成金収入	0	60,000	△ 60,000	
小 計	1,170,000	1,180,000	△ 10,000	
4 寄附金収入				
4.1 寄附金収入	0	0	0	
小 計	0	0	0	
5 雑収入				
5.1 受取利息	50	200	△ 150	
5.2 雑収入	0	0	0	
小 計	50	200	△ 150	
6 固定資産売却収入				
6.1 固定資産売却収入	0	0	0	
小 計	0	0	0	
7 基金特定預金取崩収入				
7.1 基金特定預金取崩収入	100,000	100,000	0	
小 計	100,000	100,000	0	
8 繰入金収入				
8.1 交付金収入	2,141,000	2,237,600	△ 96,600	
8.2 特別交付金収入	0	0	0	
8.3 繰入金収入	0	0	0	
8.4 未収金補填収入	0	0	0	
8.5 資産繰入金収入	0	0	0	
小 計	2,141,000	2,237,600	△ 96,600	
当期収入合計(A)	3,411,050	3,517,800	△ 106,750	
前期繰越収支差額	874,109	811,727	62,382	
収入合計(B)	4,285,159	4,329,527	△ 44,368	

支出の部

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1 事業費				
1.1 学術講演会費	1,200,000	1,200,000	0	
1.2 講演会費	150,000	150,000	0	
1.3 講習会費	100,000	100,000	0	
1.4 シンポジウム費	300,000	300,000	0	
1.5 研究会費	0	90,000	△ 90,000	
1.6 見学会費	140,000	0	140,000	
1.7 支部賞費	0	0	0	
1.8 共催事業分担金	320,000	320,000	0	
1.9 事業未収金回収不能額	0	0	0	
小 計	2,210,000	2,160,000	50,000	
2 管理費				
2.1 総会費	200,000	200,000	0	
2.2 役員会費	400,000	400,000	0	
2.3 人件費	400,000	500,000	△ 100,000	
2.4 通信運搬費	100,000	143,000	△ 43,000	
2.5 旅費交通費	40,000	40,000	0	
2.6 印刷製本費	0	10,000	△ 10,000	
2.7 消耗品費	40,000	40,000	0	
2.8 事務所費	0	0	0	
2.9 OA関係諸雑費	0	0	0	
2.10 雑費	0	2,400	△ 2,400	
2.11 交付金未収金回収不能額	0	0	0	
小 計	1,180,000	1,335,400	△ 155,400	
3 固定資産取得支出				
3.1 什器備品購入支出	0	0	0	
小 計	0	0	0	
4 基本財産繰入支出				
4.1 基本財産繰入支出	0	0	0	
小 計	0	0	0	
5 基金特定預金支出				
5.1 基金特定預金支出	0	0	0	
小 計	0	0	0	
6 繰入金支出				
6.1 一般会計繰入金支出	0	0	0	
6.2 消費税相当額	22,200	22,400	△ 200	
小 計	22,200	22,400	△ 200	
7 予備費				
7.1 予備費	0	0	0	
小 計	0	0	0	
当期支出合計(C)	3,412,200	3,517,800	△ 105,600	
当期収支差額(A)-(C)	△ 1,150	0	△ 1,150	
次期繰越収支差額(B)-(C)	872,959	811,727	61,232	

平成 16 年度横断型科学技術推進プロジェクト収支予算書

平成 16 年 1 月 1 日から平成 16 年 12 月 31 日まで

収入の部

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1 基本財産運用収入				
1.1 基本財産運用収入	0	0	0	
小 計	0	0	0	
2 会費収入				
2.1 会費収入	0	0	0	
小 計	0	0	0	
3 事業収入				
3.1 学術講演会収入	0	0	0	
3.2 講演会収入	0	0	0	
3.3 講習会収入	0	0	0	
3.4 シンポジウム収入	0	0	0	
3.5 研究会収入	0	0	0	
3.6 見学会収入	0	0	0	
3.7 分担金収入	0	0	0	
3.8 補助金・助成金収入	4,943,000	0	4,943,000	
小 計	4,943,000	0	4,943,000	
4 寄附金収入				
4.1 寄附金収入	0	0	0	
小 計	0	0	0	
5 雑収入				
5.1 受取利息	0	0	0	
5.2 雑収入	0	0	0	
小 計	0	0	0	
6 固定資産売却収入				
6.1 固定資産売却収入	0	0	0	
小 計	0	0	0	
7 基金特定預金取崩収入				
7.1 基金特定預金取崩収入	0	0	0	
小 計	0	0	0	
8 繰入金収入				
8.1 交付金収入	0	0	0	
8.2 特別交付金収入	0	0	0	
8.3 繰入金収入	0	0	0	
8.4 未収金補填収入	0	0	0	
8.5 資産繰入金収入	0	0	0	
小 計	0	0	0	
当期収入合計(A)	4,493,000	0	4,493,000	
前期繰越収支差額	1,249,002	0	1,249,002	
収入合計(B)	6,192,002	0	6,192,002	

支出の部

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1 事業費				
1.1 学術講演会費	0	0	0	
1.2 講演会費	0	0	0	
1.3 講習会費	0	0	0	
1.4 シンポジウム費	0	0	0	
1.5 研究会費	0	0	0	
1.6 見学会費	0	0	0	
1.7 支部賞費	0	0	0	
1.8 共催事業分担金	0	0	0	
1.9 横断型プロジェクト推進費	4,692,985	0	4,692,985	
1.10 事業未収金回収不能額	0	0	0	
小 計	4,692,985	0	4,692,985	
2 管理費				
2.1 総会費	0	0	0	
2.2 役員会費	0	0	0	
2.3 人件費	0	0	0	
2.4 通信運搬費	0	0	0	
2.5 旅費交通費	0	0	0	
2.6 印刷製本費	0	0	0	
2.7 消耗品費	0	0	0	
2.8 事務所費	0	0	0	
2.9 OA関係諸雑費	0	0	0	
2.10 雑費	0	0	0	
2.11 交付金未収金回収不能額	0	0	0	
小 計	0	0	0	
3 固定資産取得支出				
3.1 什器備品購入支出	0	0	0	
小 計	0	0	0	
4 基本財産繰入支出				
4.1 基本財産繰入支出	0	0	0	
小 計	0	0	0	
5 基金特定預金支出				
5.1 基金特定預金支出	0	0	0	
小 計	0	0	0	
6 繰入金支出				
6.1 一般会計繰入金支出	1,216,017	0	1,216,017	
6.2 消費税相当額	283,000	0	283,000	
小 計	1,499,017	0	1,499,017	
7 予備費				
7.1 予備費	0	0	0	
小 計	0	0	0	
当期支出合計(C)	6,192,002	0	6,192,002	
当期収支差額(A)-(C)	△ 1,249,002	0	△ 1,249,002	
次期繰越収支差額(B)-(C)	0	0	0	